

漢 字 1

カイザー シュテファン

Kanji 1

Stefan KAISER

週 1 コマ (10 週)

登録者数、20 人前後 (ほとんど非漢字圏)

主な内容：Basic Kanji Book Vol.1

クラスの狙い：限られた時間内になるべく多くの漢字、特に漢字語彙を習得させることを目標としており、そのためにはあえて漢字を書かせることはせず、読み中心で進めている。

授業の進め方：パワーポイントスライドを見せながら、各課の新しい漢字を語彙として導入して、学生はその語彙を読み上げながら手もとのプリントアウトに読み方を書き留めたりする。教科書にはない関連漢字も積極的に導入する (例えば、「～課の語彙」を毎回読ませるなど。

授業の特徴：非漢字圏向けの漢字クラスであるため、彼らにとって最大の関門である訓読み・音読みの区別に多くの注意をはらう。その工夫として、色による使い分けを導入し、下記の例のように音読みは紺色 (本稿では**ゴシック体**で示す)、訓読みはグリーン (太明朝体) で示す。

例 1：漢字「出」の語彙

家を出る

宿題を出す

出口

外出中

出入国

上記の例 1 から分かるように、自他動詞や単漢字の訓読みなどのように、コンテキストと

ともに提出した方がよさそうな語彙は簡単なコンテキストの中で提示する。

また、例2が示すように、通常の音読みと違った音などは、赤（本稿では丸ゴシック体の斜体）で注意をひくようにしている。熟字訓なども同様に扱っている。

例2：漢字「西」の語彙

日（陽）は西に沈む

駅の西口

関西に行く

西洋の国々

また、これはすべてにわたるまでには到底無理かもしれないが、何か興味をひくような形なるべく工夫したり、記憶に残りやすくなるためのmnemonicをあげたりする。

例3：用例の工夫

遠足の人数は？ 数人で行こうと思います。

持病は、痔だ。

大きな乳牛からたくさん牛乳がとれる。

例4：記憶術

入学する (Mnemonic: NEW?!)

飲食 (IN mouth?!)

道路 (Mnemonic: ロード?!)

その他には、もっと勉強したい人のためのプラスアルファの漢字を、反対語や系列の音符や部首の意味などの関係で整理しながら並べたりする。

例5：

本店 ・ ・ ・ 支店 (反対語)

彼 ・ ・ ・ 皮膚・疲労・披露・被害 (音符関連字)

部 ・ ・ ・ 邦人・郊外・郡・都 (部首関連字、共通義を話す)

今後、記憶を助けるためのこうした工夫のために、もっといろいろなアイデアを出していきたいとおもっている。